

1. 基礎情報

自治体名	福井県	
担当部署名	産業労働部国際経済課	
電話番号	0776-20-0752	
ホームページ	<a href="https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kokusai/index.html">https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kokusai/index.html</a>	

ふくい外国人コミュニティリーダー研修の様子

在留外国人数	令和5年12月現在	16,756	人	住民基本台帳人口に占める割合	2.3	%
うち、国籍別上位3ヶ国の人数及び国籍名	1位 (ベトナム)	3,566	人	2位 (ブラジル)	3,410	人
				3位 (フィリピン)	2,092	人

2. 多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

大分類	意識啓発と社会参画支援
小分類	外国人住民の社会参画支援
取組のポイント	地域と外国人をつなぐパイプ役「ふくい外国人コミュニティリーダー」を認定
具体的な取組内容	<p>令和2年度から県内在住の外国人などをふくい外国人コミュニティリーダー事業を開始し、令和6年5月現在で、15カ国・地域出身の68名に認定している。</p> <p>[SNSを使った情報発信]</p> <p>SNSを活用し、県国際交流協会のSNS上に投稿した情報の各リーダーの母国語への翻訳や投稿のシェアにより、リアルタイムでの情報発信を実施</p> <p>[リーダー同士の新たなネットワークの醸成]</p> <p>研修会や日々のやりとりのなかで、これまで繋がりのなかったリーダー同士のネットワークが構築され、リーダー間での情報交換も活発に行われるなど、より大きなネットワークを醸成</p> <p>[外国人住民の安心感と地域活動への参画意識の醸成]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS等の情報網を通じ、生活や災害に関する情報など、外国人に届きにくい情報がきめ細かく伝達されるため、外国人住民の安心に繋がっている。</li> <li>・令和6年1月に発生した能登半島地震の際にも、災害情報や避難情報などをリーダーが母国語で各コミュニティに発信。また、実際に現地に向かい災害ボランティアを行っているリーダーもあり、現地の外国人コミュニティのサポートを行って事例もある。</li> </ul>

大分類	コミュニケーション支援
小分類	行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備
取組のポイント	18言語での相談対応
具体的な取組内容	<p>[ふくい外国人相談センターの設置運営]</p> <p>生活に関する様々な情報提供や適切な相談場所への取り次ぎを行う一元的相談窓口として令和元年9月1日に開所(福井市と敦賀市の2か所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通訳対応言語: 英語(福井市では曜日により中国語、ポルトガル語、ベトナム語の通訳も対応)、ほかテレビ電話通訳16言語、電話通訳18言語</li> <li>・無料行政書士相談会: 毎月第1土曜日(福井市)、随時(敦賀市)</li> <li>・無料法律相談会: 福井市では毎月第3土曜日、敦賀市では随時、県内全域向けのリモート相談会も月1回開催</li> </ul>

大分類	生活支援
小分類	災害時の支援体制の整備
取組のポイント	多言語防災カードの配布
具体的な取組内容	<p>[多言語防災カードの作成配布]</p> <p>令和元年度に2種類作成(①日本語・英語・ポルトガル語併記版、②日本語・中国語(簡体字)・ベトナム語併記版)、随時増刷</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震などの災害時にどのように行動すればよいか、どこで災害情報が入手できるか、非常持ち出し品などを、イラストを多く使って説明</li> <li>・日頃から財布などに入れて携行できるように折り畳み式名刺サイズ</li> <li>・非常時、電化製品やスマートフォン等が使用できないことを想定して、紙ベースで作成し、長期間の携帯に耐えられるよう、水に強く破れにくい紙を使用</li> </ul>